


(3) 事業概要

事業実施の目的	
<p>当市内において、木質バイオマス利用の循環を形成し、地域一体となった取り組みによる「自然と共存したまちづくり」をスローガンとして、地域内でのエネルギー循環や×××を形成することを目的とします。</p>	
申請地域での地域内エコシステムの将来像（ビジョン）	
<p>〇〇温泉も含め、市内の施設にチップボイラーを導入することで、現在発電用として市外へ流出しているチップを市内で利用し、資源と資金の地域内循環システムを構築します。将来的には地域住民参加型の薪割りを実施し、地域住民と協同した木質バイオマス活用を進めていきたいです。</p>	
本事業が該当する上位計画・ビジョン等【申請者が地方公共団体の場合記載】	
計画・ビジョン名	▼▼市ビジョン（第1版） 再生エネルギー活用推進プラン
計画・ビジョン概要	 <p>▼▼市ビジョンは、▼▼市のまちづくりの上位計画であり、まちの将来像や施策の方針、様々な事業・取り組みを示すものです。</p> <p>本ビジョンの内、「第1項 自然と共生するまち」では、脱炭素と森林整備の促進のため、「再生エネルギー活用推進プラン内」にて木質バイオマス利用を掲げており、……………です。</p>

(4) 地域協議会概要

協議会の立ち位置・目的			
<p>▼▼市森の協議会は、本地域での木質バイオマスを含む原木・木材の利用を推進するため、令和元年度に設立した。メンバーは川上から川下までの関連事業者であり、年3回程度、協議を実施している。</p>			
地域内エコシステム協議会想定メンバー <u>(必要に応じて適宜追加)</u>			
組織名称	区分	役割・組織概要(担当)	備考
▼▼市 農林水産部 振興商工課	事務局	協議会の運営	
■■■大学 □□学科	委員	オブザーバー・コーディネーター	協議会の座長を務める
○○森林組合	委員	燃料用材供給	
NPO 法人 ●●団体	委員	燃料用材の供給、収集の実施	地域住民からなる団体
▲▲▲株式会社	委員	燃料製造(チップ)、燃料供給(運搬)	
▲▲▲製材所	委員	補助的に燃料製造(チップ)、燃料供給(運搬)	
株式会社△△	委員	○○温泉の管理事業者	
有限会社□□	委員	ハウス栽培農家	暖房用としてボイラー導入を検討
これまでの協議事項(実績) <u>(必要に応じて適宜追加)</u>			
実施年度	協議事項		
2019年度	該当箇所(複数選択可)	川上・川中・川下	
	木質バイオマスの利用に関する協議会(森の協議会)を設置した。		
2020年度	該当箇所(複数選択可)	川上・川中・川下	
	2019~2020年度に実施した◎◎FS事業(チップボイラー導入における試算)の結果をもとに協議を行った。結果、○○温泉にチップボイラーを導入する方針が定まった。		
2021年度	該当箇所(複数選択可)	川上・川中・川下	
	チップボイラーについての情報収集のため、○○県△△町のチップ製造拠点及び温浴施設に導入されているチップボイラーを視察した。		
2022年度	該当箇所(複数選択可)	川上・川中・川下	
	2021年度に実施した■■■FS調査(林地残材の賦存量調査)の結果をもとに、林地残材の搬出システムについて協議を行った。結果、林地残材の搬出は、市民参加型で川上事業体と共同で進める方針となった。		

(5) 過年度 FS 調査実施概要 (必要に応じて適宜追加)

事業実施年度	2019 年 6 月-2020 年 3 月
調査実施機関	環境省
事業名	◎◎FS 事業
該当箇所 (複数選択可)	川上 ・ 川中 ・ <u>川下</u>

事業実施年度	2021 年 7 月-9 月
調査実施機関	市単費
事業名	■ ■FS 調査
該当箇所 (複数選択可)	<u>川上</u> ・ 川中 ・ 川下

(6) 実施項目

本地域での地域内エコシステム構築のゴール設定（大目標）		
<p>【新規に導入する地域例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合から林地残材を約●m³搬出し、燃料用材として利用することを想定している（令和●年度）。 ・株式会社△△の既存チップper機を活用し、熱利用チップを製造する。 ・令和●年度に温浴施設○○に、導入するチップボイラーの基本設計を開始する。 <p>【水平展開・運用改善の地域例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料用材を確保するため、新たに○○森林組合から燃料用材の調達を開始する（約●m³/年）。 ・チップの品質改善（含水率●%以下）を行い、令和●年度に供給を開始する。 ・令和●年度までに新たな施設へのチップボイラー導入計画を策定する。 		
今年度の目標（小目標）		
<p>①新たな燃料用材調達先の発掘、②燃料製造拠点の設定、③ボイラー導入の低コスト化の検討 ※原木等の乾燥の準備及びチップボイラー導入運用を考慮し、燃料製造拠点を早急に整備していく必要があるため、特に①と②の目標は急務と考えている。</p>		
本事業での実施項目の想定（必要に応じて適宜追加）		
①	目標	①新たな燃料用材調達先の発掘
	目標の背景・現状の課題等	燃料用材の安定供給のため、現在合意を得ている事業者の他、市内・周辺地域の未利用材（支障木等）の発生状況や供給の可能性を把握する必要がある。
	実施項目	市内周辺地域の事業者に対するヒアリング調査を行う。
②	目標	②燃料製造拠点の設定
	目標の背景・現状の課題等	現在、チップボイラーの導入に向けチップ製造拠点の新たな設置を検討しているが、燃料製造拠点の運用体制についての検討があまり進んでいない。
	実施項目	燃料製造拠点に導入するチップper機の選定のため、情報収集を行う。また、選定したチップper機の運用コスト試算を行う。
③	目標	③ボイラー導入の低コスト化の検討
	目標の背景・現状の課題等	2019年6月-2020年3月に実施したFS調査にて○○温泉にチップボイラーを導入することが決まった。導入には補助金の活用を検討しているが、建屋を含めると投資回収年数の増加が見込まれるため、導入時のコストを削減する必要がある。
	実施項目	協議会にて、チップボイラーを導入している先進地域の視察を行う。周辺設備も含めた低コスト化の方法や工夫についての知見を深め、本地域での導入の際の参考にする。

(7) 事業化までのロードマップ (令和3年度以前または令和7年度以降は必要に応じて適宜追加)

区分		事業実績		事業計画		
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (今年度)	令和6年度	令和7年度
主な事業内容	川上	・林地残材賦存量調査を実施 (FS調査)	・地域住民参加型の自伐講習会を実施	・木の駅への供給実証試験	・木の駅への供給実証試験 (継続)	・木の駅へ供給開始
	川中	・木の駅実施体制の整備 (サプライチェーンの検討)	・木の駅実施体制の整備 (サプライチェーンの検討)	・木の駅実証試験 ・チップの性状試験	・木の駅への供給実証試験 (継続)	・木の駅運営開始
	川下		・〇〇温浴施設で実施 (FS調査)	・令和4年度FS調査結果の精査 ・ボイラーの選定	・補助事業の申請 ・基本設計開始	・実施設計開始

※申請者が民間団体の場合は、可能な範囲で記載してください。

(8) その他取り組み（過年度に実施した関連事業等）（必要に応じて適宜追加）

取り組み（事業）実施年度	2021年8月-2022年2月
採択機関と実施機関 （国補助、民間助成、単費等）	環境省所管 一般財団法人●●センターによる間接補助事業
取り組み（事業）名	SDGs◎◎促進事業
概要	
<p>地域住民と連携した薪づくりを実施した。</p> <p>将来的に、福祉との連携による薪づくりを想定しており、その為の情報を収集した。</p> <p>取り組みにおいて、××の課題が明らかとなった。</p> <p>今後は、▼▼の検討を進め、××の課題を解消する。</p> <p>詳細は添付資料を参照。</p>	